

レベル	到達目標
レベルⅠ (新人)	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら、安全に看護を実践できる ② 部署のマニュアルを活用し、看護を実践できる ③ 事故の教育的課題を発見し、主体的に学習できる ④ 社会人としての自覚を持ち、組織のメンバーとして規律を守り役割を發揮できる
レベルⅡ (一人前)	<ul style="list-style-type: none"> ① 根拠のある判断・看護実践ができる ② 患者の希望を踏まえ、看護計画に基づいて、自立して看護を実践できる ③ 自己の教育課題達成に向けた教育活動を展開することができる ④ 判断に迷うときは、自ら他社に相談し、メンバーシップを發揮して看護を展開できる ⑤ 患者とのかかわりの中で、自身の課題を明らかにすることができる ⑥ 所属施設の理念や方針を理解し、組織の一員として、自覚ある行動ができる ⑦ コスト意識を持つことができる
レベルⅢ (中堅)	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者の個別性を理解し、状況に応じた看護実践を実践できる ② 自身の課題を克服しようと取り組み、自身の強み、弱みを意識して、自身の持ち味を生かした看護ができる ③ 自己の教育活動に積極的に取り組む事ができ、指導的役割も意識して行動することができる ④ 組織の一員として、効果的かつ効率的に業務を行えるよう、メンバーや多職種と協働できる ⑤ 所属施設や部署の目標達成に取り組むことができる
レベルⅣ (達人)	<ul style="list-style-type: none"> ① 全人的に患者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断をもち患者中心の看護を実践できる ② 患者の満足度を高めるために、チームの動きを把握しリーダーシップを發揮した行動ができる ③ 医療全体を理解するために、広い視野で必要な知識を獲得できる ④ 精神科医療の現状をふまえて、自分の役割を理解して、業務が効率的かつ経済的に効率よく行えるようスタッフに指導的にかかわることができる ⑤ 所属施設や部署の理念と方針をふまえて自己の役割を考え、主体的に行動できる
レベルⅤ-I (管理者)	<ul style="list-style-type: none"> ① より複雑で対応困難な状況において、最良な手段を選択し、患者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる ② 役割モデルを意識しながら指導にあたり、現状にとどまらず、患者のために看護を追求し続ける姿勢を持ち、創造的な看護実践を行うとともに、多職種と協働できる ③ 患者を尊重できる看護職の育成に携わり、広い視野で教育的な役割を取ることができる ④ 精神科医療の現状および所属施設の理念や部門の目標を理解し、積極的に職場の改革に参画し、看護の質向上のために変革的な行動ができる
レベルⅤ-II (管理者)	<ul style="list-style-type: none"> ① 管理領域、専門領域の役割モデルとなり専門性を發揮できる ② 問題解決のために総合判断ができる ③ 模範となる行動がとれ、組織的にも役割を遂行できる ④ 看護の満足度・達成感・やりがい感を持てるように指導し個々の能力開発に努める ⑤ 専門領域における研究、開発の指導・援助ができる